

三原市久井歴史民俗資料館 vol.11

モーモー通信



しわモ～すっきり♪アイロン

衣類のしわを伸ばす道具といえばアイロンです。しわのない服を着ると見た目も心もすっきりしてきちんとした印象ですよ♪それは今も昔も変わりません。布のしわは、しめらせて熱を加えると伸びます。みなさんが現在使われているアイロンですが、鉄を意味する「iron」が語源で、明治時代に外国から輸入された炭火アイロンが進化したものです。今のような電気ではなく、炭火で金属を熱くして使っていました。今回はアイロンの歴史をご紹介します♪

【火のし】

1930年代ころまで使用

中に炭火をいれて、その熱によりしわを伸ばします。平らな底で、鍋のような形をしています。こてよりも広い部分のしわを伸ばせました。平安時代には、貴族のふとんを温める道具としても使われたといひます。



【こて】

1930年代ころまで使用

布のこまかな部分のしわ伸ばしや、折り目つけなどにもちいられました。先の金属をいろいろや火鉢などの炭火にさしこんで熱して着物にあてて使います。あてる部分の布はしめらせておきました。



【炭火アイロン】

1930年代ころまで使用

鉄でできており、現在のアイロンと同じような形をしています。中にいれる炭火の熱と、鉄の重さで布のしわをのばしました。明治時代になって、洋服を着る習慣とともにイギリスから伝わりました。



すごいぞ！！

えんとつや穴から熱とけむりを逃がしたよ。空気をいれて、火を消さない役割モ～



【電気アイロン】

1930 年代ころから使用

電気の熱でしわをのばします。明治時代の終わりごろに外国から伝わり、炭をおこす必要がなく、コンセントにさしこむだけで使える手軽さから、国産品も造られましたが高級品でした。昭和初期には多くの家庭に広まりました。



【スチームアイロン】

1960 年代ころから使用

アイロンにそそいだ水が、電気の熱でスチーム(水蒸気)となり、衣類に押し当てる面から自動的にふきでるアイロンです。今までのように布を湿らせる手間がなくなりました。



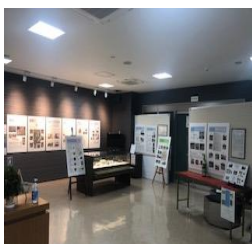
～アイロンの今～

今では温度がえられるものや、コードレスのもの、またハンガーにかけたまま、台のいないものなどさまざまなアイロンが登場しています。

未来のアイロン
はどんな形かな？



お礼モ～しあげます♪
3月28日まで開催の企画展
「久井岩海のキセキ」に298名
のご来場がありました。
ありがとうございました♪



★「モーモー通信」はHPでも★

調べよう！みはらコレナンド？（子ども向け）



<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/50/104083.htm>

つづきは資料館で...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合、翌日休館）、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない図

